

'15. 1. 1

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

あけましておめでとうございます。

各サークル並びにサークル会員のみなさまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

7月の自立支援センターまつり、8月のろう教育を考える全国討論集会 in 東京、たましろフェスタ in 府中、10月城南ブロック企画一日研修会等の行事では、各サークルから多くの方々の協力を得ることができました。

心より御礼申し上げます

聴覚に障害のある方々の基本的な人権を守り情報格差をなくし、福祉の向上や力強い運動を目指すためには、都内の手話サークルが結束し、運動団体としての力を結集させなければなりません。これからの都サ連が結束し、東京都聴覚障害者連盟との強力な協力関係を構築するためにも、昨年変わらない加盟サークルのご協力を賜りたく、是非ともよろしく願いいたします。

また広報班の活動も5年目になります。都内の加盟・非加盟サークルを訪問し、都サ連の活動を紹介させて頂くと共に、都サ連の重要性を訴えてまいりました。加盟サークルの皆様には貴重なお時間を頂戴し、本当に有り難うございました。

都サ連を活性化させ、たましろの郷の支援を充実させるためには、広報班の活動はととても大切です。今後ともご理解ご協力をいただけましたら幸いです。

今年の一年が皆様方にとって素晴らしい一年であるように、お祈り申し上げます。

東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田直樹

福祉対策会議報告**(11月10日)**

- ・東京地裁に対し、手話・要約筆記通訳者入札問題に関する申し入れを行った。
- ・都の施策推進会議「福祉のまちづくり」に対し、情報のバリアフリーを提案していきたい。
- ・オリンピック・パラリンピックにむけての啓発リーフレットは12月発行、パンフレット(32頁)は3月発行予定。東聴連が助言者として関わっている。
- ・字幕付き16ミリフィルムの貸出事業開始。
- ・【災害対策委員会】11/1~2 全国防災会議(郡山市)は、災害救援中央本部石野運営委員長の基調報告・山本おさむ氏の講演・パネルディスカッション・分科会など。東京からは都との協定を報告。
- ・【教育】都教育委員会特殊教育課に対し、特別支援校のソーシャルワーカーとして自立支援センターが関われる道を探りたい。
- ・手話言語法推進活動は、12/12(金)午前報告会、午後パレードを行う。動員700名の計画。
- ・宮本理事長より、被災地訪問の際には現地の状況や心情を理解し、良識ある態度で臨むようにとの苦言があった。

(12月1日)

- ・11/16 東聴連大会は約1,350名の参加者、11/30 中難協のつどいは約400名。参加協力に感謝。
- ・都サ連は2015年1/18の一日研集会と、福島県への8月ツアー企画(東聴連と共催)を報告。
- ・【参政権】12/13(土)政見放送ビデオ上映会を実施(於:スマイル中野)。選挙後「コミュニケーションボードの設置状況および、投票所バリアフリーに関するアンケート」を実施。
- ・【災害対策委員会】*全国防災会議の参加者は85名(東京災害対策本部から3名)。東北三県共通の課題は①二重ローン ②求職活動 ③新コミュニティでの困難。伊勢市からは県との災害時協定の報告、兵庫県からは震災後20年の復興住宅退去の問題などの報告。また、災害救援中央本部から「地域支援事業の自発的活動支援事業」の制度活用をとの情報提供があった。
*気象庁では地震・津波・噴火の三分野の見学&ミニ講演ができる。3月実施を検討中。
- ・【ろう教育】2015年1/24、東京におけるろう教育を考える会議を開催予定。
- ・手話言語法推進活動は島嶼で難航。
- ・12日のパレードの統一イメージは、オレンジ色と「手」「話」の文字。
- ・第35回地域担当者会議は2015年1/22(木)リフレッシュ氷川にて開催予定。テーマは手話言語法を中心に。記録は都サ連担当。
- ・1月の会議は休み、次回は2/2(月)に開催予定。

(文責:委員 林)

自立支援センター運営委員会報告

- 運営委員会11月8日(土)・12月13日(土)10～12時
- 事務局より
 - ・年末年始休館について 12月28日(日)～1月4日(日)
 - ・1月5日(月)事務所開き
 - ・多目的室貸出について 条件(貸賃等)を見直す
- 公益法人総務会議
 - ・センター前の木の伐採費用は自立が負担する
 - ・機構に統合に伴い、共益費、融資返済等検討し、来年度から東聴連と自立で折半する。
- 手話啓発事業
 - ・特別講演会
 - 第2弾 11月23日(日・祝)黄田規子氏
「戦前・戦中・戦後に生きて」 終了
 - 第3弾 2月8日(日) 14時から予定 講師未定
- センター啓発事業
 - ・12月ふれあいサロン「クリスマス会」
12月13日(土)18時から 自立支援センター2階多目的室
 - ・耳の日記念大会 拡大実行委員 今井・高田
11月17日(月)・1月26日(月)19時から自立支援センター
- 自立支援事業
 - ・スクールソーシャルワーク制度化について東京都教育長に要望
 - ・職業委託訓練 第2期8月から4名、第3期12月から4名
- 自立支援センターのシンボルマークの一般公募しました。
*次回運営委員会 1月10日(土)10時から

(文責 高田・杉石)

西東京市聴覚障害者協会 会長 投稿

前号で西東京市の手話サークル「山茶花」の訪問記を掲載いたしました。都サ連通信を読んでもらった西東京市聴覚障害者協会の現会長さんが、ろう協と手話サークルのより良い関係づくりを目指して頑張っているその思いを投稿してくださいましたので、ご紹介いたします。

「西東京市聴覚障害者協会 会長栗田春菜と申します。この度は、都サ連通信の紙面を貸していただき、ありがとうございます。私は、2014年4月に就任したばかりです。右も左もわからない状態でしたが、9月に手話言語等情報・コミュニケーション環境の整備を求める意見書を議会で採択できました。

少しずつですが、軌道に乗ろうとしています。西東京市の手話サークルは6つあり、旧保谷色が3つ、旧田無色が3つ。それぞれのサークルの色があります。ろう協にとっては6つのサークルと少しずつ、関係を持ちたいと思い、2年前から、6つのサークルとの話し合いも行ってきました。まだまだわだかまりがありますが、馴染むように努力してまいりたいと思います。手話は、聴覚障害者にとっての言葉・言語でもあり、それを覚えてくれているのは、とても有難いです。ろう協とサークルとの連携は、とても重要な役割だと思います。力が1つではなく、もっと増えるからです。一人だけでは動くことはできません。人間は100%なんていません。同じ意見を持っているだけだと、なかなか前に進まないですね。違う意見をまとめるのは大変かもしれませんが、違う意見も大切に、その時は、こうすればいい、補う面が増えるかと思えます。皆さんの協力は不可欠だと思い、さらにわだかまりを消して、6つのサークルと連携していきたいと強く思います。」

西東京市聴覚障害者協会 会長栗田春菜さま、貴重なご意見をありがとうございました。

(事務局長 河野)

都サ連一日研修会「ろう者と権利」招待サークル感想

この一日研修会に参加したのは、今回で2回目になります。普段、ろうの方々に関われる機会が大学のサークルのときにしかないため、この会で、ろうの方々や手話にかかわる人々の多様さを目の当たりにできて、とても新鮮な経験になりました。今回の講演のLGBTというテーマでは、普段、社会の人々に直面している問題が、ろうの方々にも同じように、時にはそれ以上に厳しく、直面しているのということを感じることができました。その後の、言語権についての講演では、社会を構成するという側面からの手話を考えることができました。いずれの講演も、手話は日常的なものという前提によっているというところも自分にとっては新鮮な経験になりました。大学という場でしか手話にかかわる機会がないと、なかなか手話の背後にある豊かな文化まで、視野が届きません。この会に初めて参加したとき、「あ、そっか。手話サークルって大学にだけあるものではないんだよな」という、とても簡単で当たり前のことに気づきました。この時の視野が開けた瞬間の感覚は今でも覚えています。このような経験は、自分たちのサークルなどの活動をより有意義にしてくれるものだと思います。たいへん貴重な体験をありがとうございました。(東京大学しゅわっち)